

## 第3回教育研究審議会

### 議事概要

開催日：平成23年5月11日（水）

場 所：本部棟3階大会議室

出席者：加藤祐三学長、高田理孝副学長、福田誠治副学長、椎廣行事務局長

大平栄子学長補佐、清水雅彦学長補佐阿毛久芳研究科委員長、鶴田清司初等教育学科長

牛山恵国文学科長代理、儀部直樹英文学科長、進藤兵社会学科長、大辻千恵子比較文化学科長

杉本光司地域交流研究センター長、稲垣孝博外国語教育センター長、重原達也学生課長、相川泰総務課長

欠席者：田中一利理事

#### ■挨拶

加藤学長よりあいさつ

### 議 事

1. 平成23年度非常勤講師の授業担当科目の取り消しについて

○担当より説明、審議の結果、提案通り承認。

2. 平成23年度専任教員の授業担当科目の更新について

○担当より説明、審議の結果、提案通り承認。

担当教員（非常勤講師）の体調不良による専任教員による持ち替え科目だが、持ちコマ数が基準として考えているコマ数を超えてしまうことが問題として挙げられた。

\*専任の持ちコマ数の件に関しては、必要に応じて随時審議を行っていく。

3. 平成24年度教員配置に関する原則（指針）について

○担当より説明、審議の結果、提案通り承認。

・各学科の状況に応じて指針を総合的に判断し当てはめる。

\*平成24年度教員配置に関する原則（指針）として提示しているが、この指針で問題がないようならば、平成25年度以降もこの指針で行うこともあり得る。

4. プロジェクト構想（案）について

○各プロジェクトについて担当より説明、各プロジェクト一部委員の変更をし継続審議。

委員長及び委員の構成については、このような人物がいいのではないかとという形（案）で記入してある。プロジェクトCとプロジェクトD(5)については5月中に発足してほしい。

#### プロジェクトB

・プロジェクトの委員構成に初等教育学科のメンバーが多いが、初等教育学科以外の学科でも大切

なことなのでもう少し他の学科も委員に加えるべきではないか。また特任の先生がメンバー構成の中に入っているが、特任の先生は大学の委員会にも出席しておらず、大学全体のことを把握ができていないと思われるので委員に加えるべきではないと思う。

- ・他学科の委員として特任の先生を委員として加えたが、専任教員で委員をやってくれる人がいれば委員構成を検討。また特任教員は全てに関わるのではなく、専門分野で部分的に関わってもらうことも1つの方法として考えられる。
  - ・初等教育学科の中等教育免許状(理科)取得の話が説明内であったが、あと4人教員を配置すれば実現できる体制になるという話だったが4人も配置ができるのか。また、学生数に対して初等教育学科に専任教育の配置が厚いように感じられる。
  - ・プロジェクトBはプロジェクトCと連携して行うべきだという意見が教授会でも出ていた。
- ある程度、方向性がまとまってきたら審議事項として教授会でも審議をかけるが方向性についてはプロジェクトや教育研究審議会の場で決めていく。

#### プロジェクトC

- ・③専任教員と非常勤の担当科目の分担状況を調査し問題点を摘出、どのような科目を専任、非常勤が受け持っているのか分担状況や授業の持ち方をチェックし把握する。

#### プロジェクトD

(1) (5)に関しては早めに動きだしてほしい、(2) (3) (4)に関しては少し時間がかかる。

(1) 国際交流センター改革案について

- ・語学というところで比較文化学科の教員がずっと関わってきたものなので、英文学科と両副学長に加えて比較文化学科の教員(例えば重富講師)を委員に加えるべきではないか。国際交流は比較文化学科が中心にやっていたので、是非委員として比較文化学科の教員に入って欲しい。

(2) 地域交流研究センター改組委員会について

- ・地域交流研究センターは発足当初、初等教育学科と社会学科で負担を担っていくという理解があったと聞いているので、その経緯から初等教育学科の教員も委員に入ってもいいのでは。

→初等教育学科の教員も委員に加える方向で検討。

### 3 報 告

(1) その他

○教員養成カリキュラム検討委員会の委員長(学長指名)について

委員長：清水雅彦 副委員長：佐藤 隆

### 4 そ の 他

○防災対策委員会について

- ・教授会でも話にあった防災対策委員会について、法人として委員会を立ち上げ、教員に加わってもらうという方向で立ち上げてはどうだろうか。

→現在の規程では、対策本部は事務局員が中心となっているため、規程の改正からする必要がある。

- ・学生が行っている東北地方の自主的な災害支援ボランティアについて、大学としてどうするかルール化等を検討する必要があるのではないか(上智大学のようにボランティアに登録した者だけが行える等)。また、夏に向けて心配されているエネルギー問題について、原子力発電に依存しない形の大学としてのエネルギーのあり方を、どこかで議論していただきたい。

→ボランティアについては、学生委員会等で少し話しをすすめてもらいたい。

○平成 25 年度以降の教員配置の進め方について

- ・平成 25 年度以降の教員配置の進め方について、どのように進めて行くのか審議してほしい（教員配置について、いつから始まり手続きがどうなるのか）。

→平成 24 年度の教員配置計画が動き出してから夏以降に、平成 25 年度の教員配置については進めていくことになる。